



公益社団法人 **日本作曲家協会会報**

No.178

<http://www.jacompa.or.jp>

JAPAN COMPOSER'S ASSOCIATION

## オリジナルソング・コンテスト

# グランプリ曲決定!

今年度の「オリジナルソング・コンテスト」は日本コロムビア株式会社のご協力をいただき、新沼謙治さんを対象歌手として「星空に抱かれて」「悲しみ発ふるさと行き」の2編（作詩・石原信一氏）を課題詩として募集が行われ、187作品の応募があった。

8月4日（月）当協会会議室において、日本レコード大賞の審査委員でもある、赤間剛勝、酒井政利、高柳六郎の3氏による審査で「星空…」20作品「悲しみ発…」15作品を選び、最終選考は日本コロムビア制作スタッフ及び新沼謙治さん本人により行われ、杉村俊博氏作曲の「星空に抱かれて」がグランプリに決定した。そしてこの作品は10月6日（月）「日本作曲家協会音楽祭・2014」（北区 北とぴあ・さくらホール）において披露及び表彰が行われる。



新沼謙治

### ◆グランプリ

「**星空に抱かれて**」 作詩：石原信一

作曲：杉村俊博

### ◆準グランプリ

「**星空に抱かれて**」

作曲：南部直登

### ◆優秀作品賞

「**星空に抱かれて**」

河知成僖／南郷 孝

「**悲しみ発ふるさと行き**」 東 純平／前田俊明

なお、「悲しみ発ふるさと行き」に対するグランプリ及び準グランプリについては該当作品なしという結果となった。

# 「日本作曲家協会音楽祭・2014」出演歌手決定

10月6日(月)北区 北とぴあ・さくらホールにおいて行われる「日本作曲家協会音楽祭・2014」の出演者が決定した。

## ◆メインゲスト



川中美幸 (ティチクエンタテインメント)

## ◆ソングコンテスト・グランプリ曲歌唱



新沼謙治 (日本コロムビア)

## ◆日本作曲家協会音楽祭・奨励賞◆



山崎ていじ (日本コロムビア)  
「昭和男唄」  
作曲・弦 哲也/作詩・さわだすずこ



市川由紀乃 (キングレコード)  
「流水波止場」  
作曲・幸 耕平/作詩・喜多條 忠



松原健之 (ティチクエンタテインメント)  
「ふるさとの空遠く」  
作曲・弦 哲也/作詩・石原信一



加賀夕子 (日本クラウン)  
「ニッポン太郎」  
作曲・叶 弦大/作詩・荒木とよひさ



飛鳥とも美 (ビクターエンタテインメント)  
「あなたに決めました」  
作曲・岡 千秋/作詩・麻 こよみ

◆ロングヒット賞◆

門倉有希(ビクターエンタテインメント)



「ノラ」

作曲・徳久広司/作詩・ちあき哲也

◆ベストカラオケ賞◆

三山ひろし(日本クラウン)



「あやめ雨情」

作曲・中村典正/作詩・仁井谷俊也

◆有線大衆賞◆

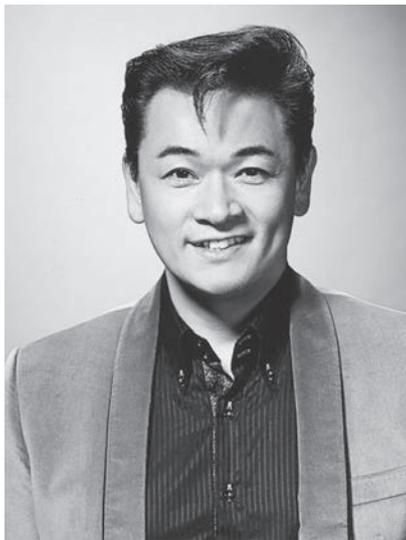
レーモンド松屋(ユニバーサルミュージック合同会社)



「朝やけの二人」

作曲/作詩・レーモンド松屋

\* この曲・この歌手 ~作曲家とともに~ \*



北川大介(日本クラウン)

「ラブユー東京」

作曲・中川博之/作詩・上原 尚



原田悠里(キングレコード)

「木曾路の女」

作曲・伊藤雪彦/作詩・やしろう

❖ チケットご希望の方 ❖

「日本作曲家協会音楽祭・2014」  
観覧ご希望の方は、事務局まで  
FAXにてお申込みください。  
チケットはお一人2枚までとし、  
なくなり次第終了とさせていただきます。

公益社団法人 日本作曲家協会

FAX : 03-3585-7694

なお、この音楽祭の様子は、11月3日(月・祝) 15:00~16:30、BSジャパンで放送されることが決まった。

# オリジナルソング・コンテスト

## ☆グランプリの受賞に寄せて

杉村俊博



岩手県花巻へのお盆帰省から帰って来たその日の夕方、私の携帯電話に嬉しい報告が飛び込んできました。協会事務局からでした。「杉村さん、グランプリおめでとうございます。」驚きと嬉しさで一瞬、頭の中が

整理できなくて、ぎこちない対応になってしまいましたが、電話を切ってから実感が湧いてきました。

この作品は同郷の新沼謙治さんが歌われるということと、石原信一先生の詩に郷里の景色や郷里への想いが重なり、素直に感情移入することが出来ました。この賞を糧に、もっともっと音楽を楽しみながら、まだまだ色々な活動に挑戦したいと思います。誠に有り難うございました。

## 選考にあたって

### 詩から感じるメロディーを重視

日本コロムビア株式会社 久保塚康夫



ソングコンテスト選考にあたって今回、非常にレベルの高い作品を、数多く応募頂きました。ありがとうございます。新沼は、約40年のキャリアの中で、色々な方向、ジャンルの楽曲を歌ってきておりますので楽曲の方向性を決めるのに悩まれたかと思います。

今回の選考基準は、楽曲の仕上がりは無論ですが、それに加え課題の詩から感じるメロディーが新沼本人が感じるものにいかに近いかを第一の基準とし、それに加えて新沼の基本線として「歌謡曲の歌い手である」ことを鑑み、メロディーがいかにシンプルで覚え易く歌い易いかを重視致しました。

今回受賞しました楽曲は、非常に長い詩でありながらコンパクトに構成されており、新沼本人も「ぜひ歌いたい曲」と申しております。

### 「売りメロディー」はここだ!の意欲を

音楽プロデューサー 赤間剛勝

石原信一さんの詩は、今の日本にもっとも大事な心の原風景をさわやかに表現しております。まろやかな張りのある高音と、東北人らしい律義さをもった新沼謙治さんとの取り合わせで新境地を開く作品が集まりました。

10行詩と比較的長い詩に、演歌系にするか、抒情歌謡風にするか、またフォーク風にするかと、かなり苦戦した様子が、応募作品を聞いていて感じました。まとめる意識よりも、作者自身の「売りメロディー」はここだ!という意欲が、もっと発揮されてほしいものです。

### 歌とシンクロし愛される作品に

音楽プロデューサー 酒井政利

楽曲を完成させることは、1枚の絵を描き上げることに似ている。デッサンし、色を置き重ね、描き手の感性を通して仕上げていく絵と、言葉が編み出す風景を曲が浮き彫りにし、歌唱が立体化する楽曲。ただ、絵は個で完結するが、楽曲は何人もの共同作業である。

複数の個性が共鳴し合い、作品ができあがる。今回の応募作品は、イメージがどこか似ている曲が多かった。既成のヒット曲を持つ歌手の楽曲を作る難しさを感じたものだが、選ばれた作品はこの後、編曲家やプロデューサー、歌手とシンクロし、愛される作品になってもらいたいと願っている。

### 意外性のある楽曲に創作意図を

音楽プロデューサー 高柳六郎

応募作品を試聴させて頂き、総合的にメロラインのしっかりした作品が多く見られ、大変優秀であった様に感じました。そんな中で少し気付いたことが幾つかあり申し述べてみますと、マイナー調作品が多かったこと、オーソドックスな演歌作品が数多かった様に思われました。

例えば、演歌歌謡曲ジャンルの中でも従来のオーソドックスな作品にとらわれず、少し意外性のある楽曲、即ちフォーク調、ポップ系の匂いのするメジャー作品等々の創作意図を持ってみては……と感じました。以上、総じて言えば冒頭に申し上げた通りであります。

(50音順・敬称略)